

事務事業名		地域・大学連携推進事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input checked="" type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業					
政策体系	政策名	0:5: 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目					
	施策名	2:2: 地域経済を支える鉱工業の振興									
	基本事業名	0:2: 新事業の創出		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 17 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度 ↓ 全体計画欄の総投入量を記入		01	02	01	06	30	
根拠法令											
所属	部課名	企画政策部企画調整課									
	係名	企画係	電話	0192-27-3111	内線	230					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ)					
主に県内に所在する大学(北里大学海洋生命科学部、岩手大学等)や各研究機関等のもつ研究成果や知識を活用し、「産(企業・事業者)」「学(大学・研究機関など)」「官(行政)」の連携により、共同した取り組みを進め、地域産業の振興につなげる。具体的には、各関係機関との意見交換及び懇談に基づき、主に以下の共同研究事業等を支援してきた。 ・北里大学海洋生命科学部との連携(平成18~19年度) ・ホタテエラザリ生息基礎調査、ウニ蓄養可能性調査(越喜来漁業協同組合) ・岩手大学農学部との連携(平成18~20年度) ・耕作放棄地におけるブルーベリー栽培技術の開発(吉浜豊年万作会) ・未利用資源等の分析調査 ほか なお、上述未利用資源等の分析調査に関しては、ミツデソソという海藻に関して成果があったことに伴い、財団法人さんりく基金の支援により継続研究へと発展した。						総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0					
事業費は研究費の補助金、旅費等として支出される。											

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)	前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称	単位
	・意見交換会及び打合せ	ア 打合せや報告会等の実施回数	回
	今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ 打合せテーマ数	件
	・意見交換、各種打合せ会の開催 (研究テーマが見出された後に必要な支援を行う)	ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市内事業者 大学等(北里大学・岩手大学・県水産技術センターなど)		名称	単位
		カ この事業に携わる事業者(団体)数	団体
		キ この事業に携わる大学等の関係者数	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
連携して新事業の創出に取り組む		名称	単位
		サ この事業で実施している共同研究テーマ数(継続を含む)	件
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		シ	
・多様な連携、交流が行われる。 ・既存企業が新分野に展開する。		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(目標)
投入量	事業費	単位						
		千円						
		都道府県支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		488	1,868	1,442	1,323	2	300
	事業費計(A)	千円	488	1,868	1,442	1,323	2	300
	人件費	人	2	2	2	1	1	1
	延べ業務時間	時間	1,500	900	800	200	20	50
	人件費計(B)	千円	6,000	3,600	3,200	800	80	200
トータルコスト(A)+(B)		千円	6,488	5,468	4,642	2,123	82	500
活動指標	ア	回	37	18	18	10	4	8
	イ	件	8	7	8	5	2	1
	ウ							
対象指標	カ	団体	6	6	6	5	3	3
	キ	人	8	8	10	8	3	3
	ク							
成果指標	サ	件	7	7	5	4	0	1
	シ							
	ス							

事務事業ID	0321	事務事業名	地域・大学連携推進事業
--------	------	-------	-------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成15年度に大船渡市と北里大学水産学部(現海洋生命科学部)との間で連携交流懇談会を開催し、連携交流及び水産分野の課題解決に向けて取り組んでいくこととし、平成16年度に学部教員と地元漁業者の懇談会を開催し地域課題からテーマを選定、平成17年度から具体的な共同研究等を実施している。</li> <li>・また、平成17年度には、農業分野の課題解決を図る(耕作放棄地の解消など)ため、岩手大学農学部と連携して取り組むこととなった。</li> </ul>	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	
<ul style="list-style-type: none"> <li>産業 経済活動のグローバル化に伴う競争の激化により、これまで以上に製品の付加価値化への対応が求められている。</li> <li>大学 少子化に伴う経営体としての自立を必要とする。地域に必要な大学として社会に貢献していくという意識が高まってきた。</li> <li>市 自己決定・自己責任を原則とした地方分権の推進により、さらに地域間競争が激化している。</li> </ul> <p>経済活動のグローバル化に伴い、産業振興を従来型の企業誘致にのみ頼る手法では、ある程度限界が生じている。</p>	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学等との取り組みを行うことで、新たな事業発展への可能性がある。反面、大学の研究と地域のニーズとがうまくみ合わず、連携して取り組むことの難しさを感じることもある(市内事業者)。</li> <li>・産・学(特に北里大学)・官の連携を強化し、地域の産業振興につなげてほしい(議会)。</li> <li>・市や漁協等との連携交流も図られるようになり、さらに進めていきたい(大学)。といった意見が寄せられている。</li> </ul>	

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] 大学の持つ研究成果や知識を地元事業者で紹介することで、新たな事業展開が見出される可能性がある。このような連携を多く設定し、地元事業者の新分野への展開につなげる。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] 企業の業績向上は企業努力によることが基本であるが、産業振興は当市の重要課題の一つであることから、行政としても大学側との調整を図る役割を担うなど、積極的に関与又は支援していく必要がある。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] 全国には多くの大学があり、新たに他の大学と連携を図れる可能性はあるが、現状では、北里大学海洋生命科学部や岩手大学との連携をより深めることを重視していく。
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] 市内事業者と大学等との協議する場を設けながら、新たな共同研究テーマを見出していくことで成果向上する余地がある。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] 産業振興を図るうえで、産学官連携が極めて重要であることから、廃止・休止することはできない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある  (具体的な手段, 事務事業) ・「産学官連携交流促進支援事業」(港湾経済課)  <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] 事業の目的・対象団体等類似しており、組織一元化により情報の集約、効率性並びに有効性の改善が期待できる。  <input type="checkbox"/> 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 試験に要する研究費並びに市外の大学・研究機関等との協議に要する旅費等である。現状では必要な経費であり削減することはできない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 様々な関係機関との協議を重ねることで事業化への可能性が見出される。一定の成果が出て事業化に至ることができれば行政が関与する部分の人件費を削減できるが、現状は初期段階であるため、この段階では削減することはできない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] 各関係機関において、自らが実施できる分野は自らの費用により実施しており、適正である。

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年度において、これまで実施してきた共同研究が終了した。</li> <li>新たな研究テーマの掘り起こしについて、「学」と「産」とをマッチングさせるテーマ・機会が不足した。</li> </ul>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内事業者と大学等との懇談の場を多く設定し、新たなテーマ設定へつなげる。</li> <li>庁内体制において、他事業との統合を検討する(産学官担当の集約)。</li> </ul>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 (新たなテーマ設定) 各関係機関、庁内関係課等の連携を更に強化する。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	企画政策部企画調整課長	
-------	-------------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学(大学)」と「産(企業等)」がマッチした研究テーマの掘り起こしが不足した。</li> </ul>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな研究テーマの設定へつなげるため、市内企業と大学とのコーディネート方法を検討する。</li> <li>庁内体制として、他事業との統合(産学官担当の集約)を検討する。</li> </ul>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
----------------------------